

# フォーユー新聞



発行：奉優会  
事務局  
企画事業推進室

54号（平成25年1月発行）

## 2013年の展望

### ～地域包括ケアシステムの実現に向けて～

社会福祉法人 奉優会 理事長 香取 眞恵子



奉優会職員の皆様、あけましておめでとうございます。

昨年は「優っくり村三軒茶屋」と「優っくり村喜多見」の運営がスタートし、また今年2月より「優っくり村鎌田」が開所いたします。これらの施設は、今後ますますニーズが高まっている、グループホーム、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型通所介護、そして優っくり村喜多見に併設されている訪問看護ステーション等がそろった地域密着型サービスが中心です。認知症の利用者にとっては新しい環境で慣れないのではないかと心配していましたが、大変楽しそうにされているお姿を拝見させていただき、ホッと胸をなでおろし嬉しく感じております。今後も認知症高齢者やそのご家族が安心して生活できるように、サービスを充実させ、さらに展開していきたいと考えています。

これは、奉優会の理念の一つである「地域に開かれた施設運営」の実現であり、地域の方々にお喜びいただくための活動でもあります。

同じく昨年介護保険法が改正され「地域包括ケアシステムの実現」が、厚労省より発信されております。今後急増する高齢者在宅医療ニーズを地域包括ケアシステムの中で支え、急性期医療を必要としない方々を病院から在宅へ（ケアからケアへ・看護から介護へ）と向けようとしています。また、介護を必要とする方々は「自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせるのお世話を受けたい」と希望されている人が多いとのこと。そのような時代を迎えている今だからこそ、介護サービスのプロである私たちは、地域の方のお役に立っていける立場にいるのです。

たとえば介護予防の取り組みです。奉優会では、各デイサービスや特養などにおいて理学療法士等による機能訓練や口腔ケアなどの介護予防が積極的に行われていますが、これをさらに地域に向けて展開していくことで、地域の福祉向上を図ることができます。

また、地域包括ケアシステムには、介護と医療の連携が求められています。現在でも、重度の医療的支援が必要な方へのサービスの実施、退院後の緊急受入れ、看護師等による健康相談など様々取り組みを行っていますが、今後もますます積極的に医療との連携を図り、地域の高齢者が住み慣れた地域で在宅生活が継続できるようご支援いただきたいと考えています。

そのために、私たち職員はどんなときでもお役にたてられるよう、知識や技術を学びスキルアップしていかなければなりません。

そして地域包括ケアシステムの実現に向けて、私たちは地域の高齢者介護の担い手として、地域と協働し貢献していきましょう。



# 迎春 ～施設のお正月の様子～

各事業所では初詣外出や新年会、書き初めなどが行われ、ご利用者と一緒  
に新年をお祝いさせていただきました。



かわいの家



優ったり村石神井台沼辺



白金の森



## 平成25年度の内定者懇親会が開催されました。

平成24年12月26日、25年度内定者懇親会を開催しました。当日は、20名の内定者が参加し、白金の森、目黒高齢者センター、優ったり村喜多見、かわいの家を見学しました。その後、港区のレストランで先輩職員と共に懇親会を楽しみました。



## (仮称) 足立区佐野奉優会 第四特別養護老人ホーム

## の地鎮祭が行われました。

平成24年12月21日、(仮称) 足立区佐野奉優会第四特別養護老人ホーム(以下「第四特養」)の地鎮祭が執り行われました。第四特養は、25年度末開所予定、定員84名(ショート10床含む)の施設でコミュニティカフェの併設も計画しています。(敷地面積1,298㎡、延床面積3,538.21㎡、鉄筋コンクリート造 地上5階建)



### 編集後記

昨年12月にオープンした優ったり村喜多見からはなんと、富士山が見えます。ご利用者も今年の元旦に澄んだ富士山と初日の出を見ることができたそうです。皆さんはご覧になりましたか。今年も皆にとって良い年になりますように。 築山